

ツチクジラを通して海を学ぶ教材

千葉県南房総市和田町にある、関東で唯一の沿岸小型捕鯨の会社で、鯨肉の加工・販売も行っている外房捕鯨株式会社と連携し、本物のクジラの骨やその餌に触れることで、クジラの大きさとそれを支える海の豊かさを実感できる教材を開発しました。クジラを通してスケールの大きな「海」を扱った「海をまなぶ」イベントの展開を目指しています。



水揚げされたツチクジラ
(画像は一部加工)

以下のものを貸出します。申込書にて必要なものを選んでください。

- ・ツチクジラの肋骨
- ・ツチクジラの肩甲骨
- ・ツチクジラの椎骨
- ・ツチクジラの胃内容物
- ・説明スライド
(パワーポイントファイル)
- ・槌(ツチクジラの“ツチ”の由来の木製工具)



骨は専用ケースで送ります



3種類の骨を2つずつ並べた例
(左から肩甲骨、肋骨、椎骨)

「クジラ教材」を用いた授業の例

- ・小学校での30分間の体験版授業

骨名を伏せてツチクジラの肋骨、肩甲骨、椎骨、を設置しておきます。最初の10分間でスライドを用いてツチクジラの説明と外房捕鯨株式会社の企業紹介を行い、次に児童二人にツチクジラの体長(12-13m)を巻き尺で示してもらいます。その後、班ごとに5分間ずつ3種類の骨に触れ、それぞれどこの骨なのかを相談してワークシートに記入するという授業です。

- ・小学校での2時間授業

1時間目はツチクジラの肋骨、椎骨、肩甲骨の3種類の骨に触ります。2時間目は胃内容物教材を用いて、ツチクジラが何を食べていたのかを考えます。胃内容にはイカの口、魚の目や骨や耳石が含まれており、このうち耳石からは魚種が特定できます。ツチクジラの胃の中に多く見られた魚が深海性のものであることを確認します。

- ・中学高校での授業

スライド資料を元に、分子系統学と絡めたり、深海の生態に絡めたりした授業が展開可能です。



ワークシートに記入している様子



胃内容物教材の利用例

お気軽にお問い合わせください!